

令和6年度工業会JEAS通常総会総会より

2024年6月7日（金）



総会議事進行



令和6年度 工業会 日本万引防止システム協会
通常総会・記念講演会
新理事



感謝状贈呈



今年度新規入会



元法務大臣
葉梨議員



職業専門委員

令和6年度工業会JEAS通常総会総会よりⅡ

2024年6月7日（金）



総務省 水井様



司会 松崎理事



ミネ医薬品 富澤様



個人情報保護委員 大星様



受付スタッフ



読売新聞社 猪熊様

この他、元法務大臣 葉梨様、経済産業省 籠様、国土交通省 坪原様、日本小売業協会 増井様、日本経済新聞社 武田様などに挨拶をいただきました。

総会で説明があった職業専門家としての倫理ポイント

1. 「この国は顔認証が緩い」「防犯カメラがなんとなく理解されるようになってきた」という安易な説明はしないでください。工業会JEASは設立より、法にのっとり、市民の理解が得られるよう、EAS干渉試験、EAS検定講習、推奨顔認証検定、科学保安検定講習を創設し、認定個人情報保護団体にいち早く名乗りをあげ、個人情報保護指針を発表しました。渋谷プロジェクトを支援し、頻繁にセミナーを開催し、透明性確保への不断の研鑽を行ってきたことで、EAS利用や顔認証活用などの門戸を開いていたのです。そのことをけっして忘れることのないように。
2. 「ブラックリスト」ではなく「対象者リスト」という言葉を用いるようにしてください。犯罪を起こさないために、心の病が改善されるように、社会復帰に支援が必要な方々は「ブラック」ではなく、「支援や対策が必要な対象者」です。その考え方を忘れたとき炎上や信用失墜が起こります。我々の仕事はロス対策だけでなく、社会的サポートの一助でなければいけません。店舗だけでなく地域社会からも理解され必要とされるよう日頃の言葉遣いに愛語を込めるよう注意を払ってください。
3. 誰も置き去りにないという公正としての正義には、犯罪を犯させない、繰り返させない、大切な人を悲しませないという「正義をまっとうする権利」が含まれます。我々のシステムやサービスは①人々の財産と生命を守り、②個人情報やプライバシーに配慮し、③正義をまっとうする権利のためにあります。それらは相反するものではなく、互いに重なり合うものです。それぞれを抑え込む不明確なバランスではなく、それぞれが最大限に活かされるよう両立性を図ってください、それがJEAS永劫の使命であり、真のロス・プリベンション道です。